

令和6年度厳冬期 災害時燃料供給合同支援訓練を実施します

～道東の荒天による地域の孤立、広範囲にわたる大規模停電の発生を想定～

2025年2月25日

経済産業省北海道経済産業局 資源・燃料課

(本資料のお問い合わせ先)
経済産業省 北海道経済産業局
資源エネルギー環境部 資源・燃料課
課長：五十嵐 担当：神田、大沼、奥河
TEL：011-709-2311（内線2640）
E-mail：bzl-hokkaido-shigen-nenryo@meti.go.jp

【要旨】

- 2011年の東日本大震災発生時、経済産業省は、製油所、タンクローリー、道路等の被災により民間による輸送力の限界に直面し、防衛省は大規模災害発生時の人命救助など自衛隊活動用の燃料確保に課題があることを認識しました。
- これを受け、両省は災害時燃料供給に関する連携・協力の検討を重ね、2014年に「自衛隊統合防災訓練」と「みちのくアラート」の2つの合同訓練を実施しました。
- 災害時の円滑な燃料供給のためには、両省間の連携・協力を「当たり前の習慣」として定着させると共に、各地域でも経済産業局と自衛隊が連携して訓練を実施し「顔の見える関係」を構築することが重要であることから本訓練の実施に至りました。
- 当局では2015年度に陸上自衛隊北部方面隊との合同訓練「ノーザンレスキュー」を実施。以後、2024年度春期までに計11回の合同訓練を実施してきました。

初 従来の訓練は模擬動作により実施してきましたが、今回初めて「実燃料（灯油）」を取得・輸送・供給する訓練を実施します。

- 訓練の災害想定についても、2018年の胆振東部地震・ブラックアウト以降は大規模地震と大規模停電の発生を想定した訓練を実施してきましたが、今回初めて「厳冬の荒天による地域の孤立」を想定した訓練を実施し、災害時における燃料供給ノウハウの更なる拡充を目指します。

令和6年度厳冬期 災害時燃料供給合同支援訓練（概要）

- 本訓練は「製油所又は油槽所での燃料取得訓練」と「サービスステーション（SS）、災害時重要施設等への燃料供給訓練」により、構成される。
- 今回の訓練では、**初めて「実燃料（灯油）」を取得・輸送・供給する訓練を実施**するとともに、従来の模擬動作による「軽油」の取得・供給訓練も実施する。
- 災害想定については、**厳冬期の荒天による地域の孤立**、広範囲にわたる大規模停電の発生によりオホーツク・根室などの振興局管内を中心とした道東地域が大きく被災し、燃料の需給がひっ迫する中、民間の輸送力では燃料供給対応が困難な場面を想定。燃料の積み込み、荷下ろし等の作業手順の確認や、SS、災害時重要施設等の状況把握に努める。

■ 訓練日程 2025年3月5日(水)～3月7日(金)				実施場所
①	3月5日(水)	14:00～15:30	燃料 取得訓練	苫小牧埠頭(株)オイルターミナル事業部 苫小牧ターミナル（苫小牧市真砂町18番地1）
②	3月6日(木)	13:00～14:00	燃料 供給訓練	NHK網走テレビ・FM放送所 （網走市天都山245）
③	同上	15:00～16:00		北海道エネルギー(株) セルフ番外地給油所（網走市大曲1丁目9番5号）
④	3月7日(金) 予備日:3月8日(土)	11:00～12:00		陸上自衛隊釧路駐屯地 標津分屯地羅臼分室（羅臼町礼文町7番地2）

【訓練①】 燃料取得訓練 3月5日(水) 14:00～15:30

場所：苫小牧埠頭(株)オイルターミナル事業部苫小牧ターミナル（苫小牧市真砂町18番地1）

内容：油槽所からの燃料取得（灯油（実燃料）、軽油（模擬動作））

陸上自衛隊北部方面隊の燃料タンク車2台が、苫小牧埠頭(株)オイルターミナル事業部苫小牧ターミナルに出向き、1台は**実燃料（灯油）を積み込む訓練を**、もう1台は**模擬動作により「軽油」を積み込む訓練を**実施する。

苫小牧埠頭(株)オイルターミナル事業部苫小牧ターミナル



灯油取得[実燃料積込]



陸上自衛隊：燃料タンク車①

軽油取得（模擬動作）



陸上自衛隊：燃料タンク車②

苫小牧埠頭(株)オイルターミナル事業部苫小牧ターミナルから自衛隊車両に燃料を引渡す

【訓練②】 燃料供給訓練 3月6日(木) 13:00～14:00

場所：NHK網走テレビ・FM放送所（網走市天都山245）

内容：非常用発電機用燃料（軽油）の供給。

陸上自衛隊の燃料タンク車が、苫小牧埠頭(株)オイルターミナル事業部苫小牧ターミナルから模擬動作で取得した軽油を、NHK網走テレビ・FM放送所の地下タンクに模擬動作で供給する。

NHK網走テレビ・FM放送所



陸上自衛隊 燃料タンク車



軽油
[模擬]

軽油を供給する（模擬）

【訓練③】 燃料供給訓練 3月6日(木) 15:00～16:00

場所：北海道エネルギー(株)セルフ番外地給油所（網走市大曲1丁目9番5号）【住民拠点SS】

内容：販売用燃料（軽油）の供給。

陸上自衛隊の燃料タンク車が、苫小牧埠頭(株)オイルターミナル事業部苫小牧ターミナルから模擬動作で取得した軽油を、セルフ番外地給油所の地下タンクに模擬動作で供給する。

北海道エネルギー(株)セルフ番外地給油所
(住民拠点SS※)



陸上自衛隊 燃料タンク車



軽油
[模擬]

軽油を供給する（模擬）

※ 住民拠点SS（北海道地域サポートSS 201箇所を含む）：

住民拠点サービスステーションは、自家発電設備を備え、災害などが原因の停電時にも継続して地域の住民の方々に給油できるガソリンスタンド。

2024年8月31日時点で、全国約30,000箇所のSSのうち、14,318箇所（約48%）が住民拠点SSとなっている。

同じく、北海道内は約1,660箇所のSSのうち、1,254箇所（約76%）が住民拠点SSとなっている。

【訓練④】 燃料供給訓練 3月7日(金) 11:00～12:00 <予備日：3月8日(土)>

場所：陸上自衛隊釧路駐屯地 標津分屯地羅臼分室（羅臼町礼文町7番地2）

内容：暖房用燃料（灯油）の供給。

陸上自衛隊の燃料タンク車が、苫小牧埠頭(株)オイルターミナル事業部苫小牧ターミナルで実際に積み込んで取得した「灯油」を運搬し、陸上自衛隊釧路駐屯地 標津分屯地羅臼分室の地下タンクに供給する。

陸上自衛隊釧路駐屯地 標津分屯地羅臼分室



陸上自衛隊 燃料タンク車



灯油
[実燃料]

灯油[実燃料]を供給する